

## 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」における 内閣府特命担当大臣(地方創生担当)表彰の受賞について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局による「令和3年度 地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」において、地域の隠れた魅力を発見するモニタリング研修会の活動を行う「瀬戸内モニターガールズ」の取組みが内閣府特命担当大臣（地方創生担当）より表彰されましたのでお知らせします。

当行は、今後も新たな地域資源の魅力発掘や普及拡大など地域住民の豊かさに資する活動を積極的に行い、地域経済の活性化に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 表彰の概要

- 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が全国の金融機関等から報告された地方創生に資する取組みの中から、地方公共団体等と連携している事例や先駆性のある事例を「特徴的な取組事例」として表彰するものです。
- 今年度は、約1,100事例の中から当行の取組みを含む31事例が選ばれました。

#### 2. 表彰された取組み事例について

事例名	地域の隠れた魅力を発見するモニタリング研修会“瀬戸内モニターガールズ”の活動
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>2014年1月、香川県と「産業振興による地域活性化に向けた連携・協力協定」を締結。これを契機に、当行と香川県の女性職員が中心となり、地域資源の魅力発見や幅広い情報発信を目的に、“瀬戸内モニターガールズ”を発足。同年7月より、産業観光等にスポットを当てたモニタリング研修会の活動を開始。</li> <li>過去22回の研修会を実施し、直近では地域資源の普及拡大や着地型旅行商品の開発を目的に善通寺市にて開催。研修会におけるモニタリング結果を関係各所へフィードバックを行い、最終的にJR四国で旅行商品化された。 ※詳細は別紙をご参照</li> </ul>

#### ※表彰式の様子（3月16日）



以上

# ●.「地域の隠れた魅力を発見するモニタリング研修会“瀬戸内モニターガールズ”の活動」

(百十四銀行)

## 1. 取組の概要

- ・2014年1月、香川県と「産業振興による地域活性化に向けた連携・協力協定」を締結。これを契機に、当行と香川県の女性職員が中心となり、地域資源の魅力発見や幅広い情報発信を目的に、“瀬戸内モニターガールズ”を発足。同年7月より、産業観光等にスポットを当てたモニタリング研修会(以下「研修会」)の活動を開始。
- ・過去22回の研修会を実施し、直近では地域資源の普及拡大や着地型旅行商品の造成を目的に善通寺市にて開催。研修会におけるモニタリング結果を関係各所へフィードバックを行い、最終的にJR四国で旅行商品化された。

## 2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- ・人口減少、少子高齢化など地域経済が縮小していくなか、当行は地域金融機関として地域の新たな産業を興していくことが必要であると考えていた。そこで、「着地型観光」が地域活性化の有効な施策であると考え、交流人口の拡大による地域内の消費拡大に注目した。
- ・まず、時代のトレンドを牽引する女性ならではの発想や発信力に着目し、地域の課題解決型のモニタリング研修会を企画した。
- ・その地域に住む女性が、地域の魅力を発掘し発信することで、域外の観光客や消費者に対してより魅力的で強いメッセージを発信することが期待できることから、当行と香川県の女性職員が中心となって活動を開始した。

## 3. 具体的な取組内容

- ・各地域の課題解決を行うために必ず各市町と連携する必要性があり、各市町の総合戦略におけるKPI達成を目的に活動している。
- ・まず、各地域やエリア毎にテーマを設定し、事前にヒアリングを通じて隠れた地域資源や着地型観光を進める上での地域課題を抽出する。
- ・研修会当日は、事前に調査した対象エリア内のスポットを実際に訪問。講話聴講や施設体験を行い、事前に抽出した課題に対しモニターとしてアンケートに回答。参加者は毎回約10名程度のメンバーで実施している。
- ・アンケートの集計結果を関係者に対してフィードバックを実施するとともに、具体的な出口戦略を併行して検討しながら対応している。

## 4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

- ・研修会の実施にあたっては、事前に関係者と何度も協議を重ね、モニタリング内容や課題認識を共有した。
- ・企画段階から旅行業も営むJR四国と連携し、アンケートを通じて課題の洗い出しを徹底。意見交換は、女性ならではの視点で議論を重ねている。
- ・直近では男性職員も参加し、女性職員の意見を具体的な支援施策につなげるアドバイスを行っており、成果につながっている。

## 5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- ・過去22回のモニタリング研修会を実施し、4件が旅行商品として採用。各地域の地方版総合戦略のKPI達成や地域のブランド力向上にもつながった。
- ・旅行商品の造成以外に、地域の産業の発展を目的に「小豆島のそうめん」の歴史や作り方、関連する事業者を紹介するリーフレットを作成。小豆島におけるそうめん産業の雇用の創出や観光客の誘客に活用した。
- ・モニタリング研修会で訪問した金倉寺(善通寺市)において、新たな企画として座禅体験を提案。その後、体験コンテンツとして販売が開始された。

## 6. スキーム図等

### 瀬戸内モニターガールズとは

- ・香川県内の新たな魅力を発見し、幅広い情報発信を目的とする当行と香川県共同の女性を中心としたモニターチーム。
- ・主な活動内容は、香川県内の産業観光にスポットを当てたモニタリング研修会を実施し、女性ならではの視点で、新たな着地型観光プランの企画に役立つ情報やアイデアの提供を行っている。

### “瀬戸内モニターガールズ” 主な開催事例（全22回開催、参加人数：延べ300人）

開催日	開催場所	内容
2014/7/19	第1弾 小豆島	小豆島の産業（手延素麺・醤油等）の更なる認知度向上及び、小豆島の魅力を再発見するモニタリングを実施し、ガイドマップを作成。
2018/12/20 2019/2/13	第14弾 少林寺（多度津）	少林寺拳法発祥の当地において、施設見学や少林寺拳法体操の体験を通じて少林寺拳法の世界の魅力を発見し、体験メニューなどの新たな観光コンテンツ開発を行った。その後、JR四国の着地型旅行商品として催行された。

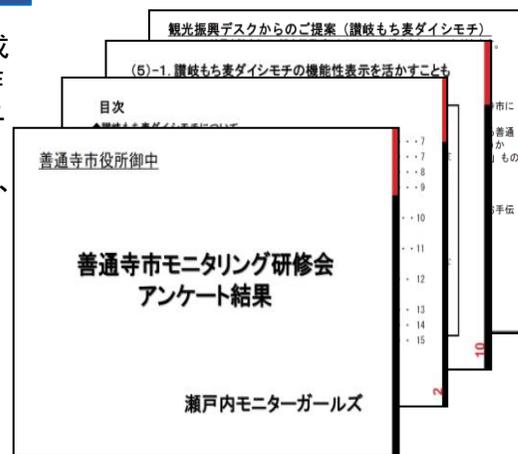


### “瀬戸内モニターガールズ”のスキーム図



### 【直近の活動事例】 善通寺市 モニタリング研修会の概要（2021年1月28日）

- ・地域の特産品である**讃岐もち麦ダイシモチ**（以下「ダイシモチ」）をテーマに、歴史や成分に関する講話の聴講、地元菓子店の協力のもとダイシモチを原料としたわらび餅作り体験、ダイシモチを使った食事の試食などを実施。事前に抽出した課題に対し、モニターとしてアンケートに回答。
- ・研修会の最後には、参加者全員でダイシモチの普及拡大をテーマに座談会を開催し、アイデア出しや意見交換を実施した。



現地によるモニタリング研修会を開催

アンケート集計結果をフィードバック

旅行商品化